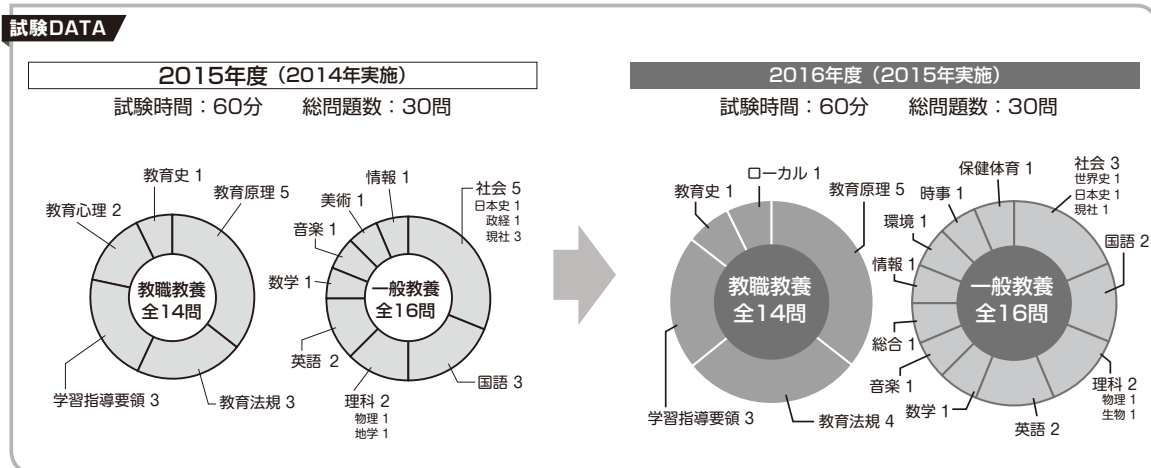


2016年度実施問題 (2015年7月18日実施, 一部抜粋)

愛知県

▶▶ 教職教養, 一般教養ともに例年通り幅広い領域から出題

問題数, 試験時間いずれも変更はなく, 出題傾向にも大きな変化はみられない。教職教養は教育原理, 教育法規, 学習指導要領, 教育史などからまんべんなく出題された。一般教養は例年通り, 主要5教科に加えて, 音楽, 情報など幅広い領域から出題されている。優先順位をつけるなどして効率的に学習を進めていくことが求められる。



実施問題

01 次は, 「いきいきあいち スポーツプラン ～豊かなスポーツライフの創造～」(平成25年3月愛知県・愛知県教育委員会)の一部を基にしたものである。(a) ～ (c) 内に当てはまるものを語群から選ぶとき, 正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び, 番号で答えよ。

近年, 少子高齢化や核家族化, 地域社会における人間関係の希薄化が進行しているほか, 情報化や急速なグローバル化に伴う雇用環境の変化など, 人々を取り巻く社会環境は急激に変化しています。

そのため, 精神的なストレスの増大や運動不足による生活習慣病の増加, コミュニケーション能力の低下などさまざまな問題が出てきており, 心身の健康の保持増進と (a) が大きな課題となっています。

一方では, 価値観やライフスタイルの多様化が進み, (b) の中にゆとりや潤いといった心の豊かさを求めようとする意欲が高まっています。

こうした社会状況において, スポーツは, 人々に大きな感動や楽しみ, 活力をもたらすとともに, わたしたちの「こころ」と「からだ」の健全な発達を促してくれるものです。また, (c) の活性化や, スポーツ産業の広がりによる経済効果が期待されるなど, 明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠くことのできない存在となっています。

【語群】

- | | |
|-------------|-----------|
| ア コミュニティの形成 | イ スポーツの振興 |
| ウ 仕事 | エ 暮らし |
| オ 行政サービス | カ 地域 |

【解答群】

- 1 a-ア b-ウ c-オ
- 2 a-ア b-ウ c-カ
- 3 a-ア b-エ c-オ
- 4 a-ア b-エ c-カ
- 5 a-イ b-ウ c-オ
- 6 a-イ b-ウ c-カ
- 7 a-イ b-エ c-オ
- 8 a-イ b-エ c-カ

02 次は, 「第2期教育振興基本計画について (答申)」(平成25年4月中央教育審議会)の「前文」の一部を基にしたものである。(a) ～ (c) 内に当てはまるものを語群から選ぶとき, 正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び, 番号で答えよ。

グローバル化の進展などにより世界全体が急速に変化する中において, 産業空洞化や生産年齢人口の減少など深刻な諸課題を抱える我が国は, 極めて危機的な状況にあり, (a) の発生は, この状況を一層顕在化・加速化させた。これらの動きは, これまでの物質的な豊かさを前提にしてきた社会の在り方, 人の生き方に大きな問いを投げ掛けている。

これらの危機を乗り越え, (b) な社会を実現するための一律の正解は存在しない。社会を構成する全ての者が, 当事者として危機感を共有し, 自ら課題探求に取り組むなど, それぞれの現場で行動することが求められる。何もしないことが最大のリスクである。幸いにして, 日本には世界から評価される「人の絆」や基礎的な知識技能の平均レベルの高さなど様々な「強み」がある。これらを踏まえて, 経済成長のみを追求するのではない, 成熟社会に適合した新たな社会モデルを構築していくことが求められている。そのためには, 多様性を基調とする「自立, 協働, 創造」の三つがキーワードとなる。

そして, 教育こそが, 人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに, 社会全体の今後一層の発展を実現する基盤である。特に, 今後も進展が予想される少子化・高齢化を踏まえ, 一人一人が生涯

にわたって能動的に学び続け, 必要とする様々な力を養い, その成果を社会に生かしていくことが可能な (c) を目指していく必要がある。これこそが, 我が国が直面する危機を回避させるものである。

【語群】

- | | |
|--------------|----------|
| ア 米国同時多発テロ事件 | イ 東日本大震災 |
| ウ 公平公正 | エ 持続可能 |
| オ 生涯学習社会 | カ 福祉国家 |

【解答群】

- 1 a-ア b-ウ c-オ
- 2 a-ア b-ウ c-カ
- 3 a-ア b-エ c-オ
- 4 a-ア b-エ c-カ
- 5 a-イ b-ウ c-オ
- 6 a-イ b-ウ c-カ
- 7 a-イ b-エ c-オ
- 8 a-イ b-エ c-カ

03 次の (1) ～ (3) は, 「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」(平成26年3月愛知県)の一部を基にしたものである。(a) ～ (c) 内に当てはまるものを語群から選ぶとき, 正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び, 番号で答えよ。

(1) 同和教育の推進

学校教育において同和教育を推進するためには, 指導する教職員が資質の向上に努め, 感性を磨き, 豊かな (a) を身に付けることが大切です。このため, 計画的・体系的な教職員研修を実施し, 意識の高揚や資質の向上を図ります。

(2) 教育・啓発の実施主体相互の連携・協力の推進

啓発活動は, 県民一人一人の生涯の中で, 様々な機会を通じて実施されることにより効果をあげるものであり, 国, 市町村, 学校, 社会教育機関, (b), 人権擁護委員連合会, 公益財団法人人権教育啓発推進センターを始めとする民間団体, 企業等事業所, マスメディア等の啓発主体と相互に十分な連携をとり, 人権啓発活動のネットワーク化を推進します。